

【令和4年度】地方創生推進交付金事業実施結果

申請事業名	関係人口創出・若者定着促進プロジェクト				
事業概要	ウポポイの開業効果を活用し、交流人口を拡大させ、まちのファンを増やししながら、若者誘致による人口減少の抑制と人口構造の適正化を図る。				
申請額	16,850,000円	決算額	16,604,949円	不要額	245,051円
事業期間	令和3年度～令和5年度 (3か年)	総合戦略上	【観光入り込み客数】 1,505千人(平成30年度)→3,125千人(令和6年度) 【完全移住者数】 31人/年(平成30年度)→40人/年(令和6年度) 【ふるさと納税寄付件数】 24,197件(平成30年度)→35,750件以上(令和6年度)		

重要業績評価(KPI)		単位	KPI	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	達成率	
① しらおいファンクラブ登録者数	目標値	人	目標値	50	50	50	150	131	%
	実績値		実績値	25	106	131			
② 観光Webサイト閲覧数	目標値	件	目標値	491,244	491,244	491,244	1,473,732	116	%
	実績値		実績値	354,278	571,460	925,738			
③ 完全移住者数	目標値	人/年	目標値	33	33	33	99	194	%
	実績値		実績値	52	64	116			
④ 年間出生数	目標値	人	目標値	53	53	53	159	62	%
	実績値		実績値	49	33	82			

【総評】

令和4年度は、ウポポイの開業による経済効果等を活用し交流人口を拡大させ、人口減少の抑制や若者誘致による人口構造の適正化に取り組んできた。

本事業は3か年計画で令和4年度は2年目である。新型コロナウイルスの影響を受けながらも当初予定していた事業規模で実施することができた。KPIについては、4項目中3項目で目標値を上回ったが、年間出生数は目標値を大きく下回る結果となり、全項目の目標達成とはならなかった。

今後においては、社会情勢を見極めながら、ウポポイを中心とした経済効果を町全体に波及させ、まちのファンから移住・定住へのステップアップを目指すと同時に、おもてなしガイド人材をはじめとする受け入れ態勢の強化、子育て支援策の継続等、交付金事業の成果を十分に活用し、更なる地方創生の推進を目指していく。

事業名		事業概要(全体)	令和4年度 計画額 (千円)	令和4年度 実績額 (千円)	事業概要(令和4年度)	内部 事業評価	有識者 事業評価
1 ウポポイによる交流人口の拡大			9,500	9,296			
1-①	経済波及効果測定分析事業	来訪客に対する動向調査、分析等	3,500	3,500	GPS等を活用した観光客の動向データ収集 収集データの分析、賑わい施策の実施	B	B
1-②	観光情報発信強化事業	視覚的情報発信、周遊性の向上	1,000	1,000	白老観光協会Webサイトの多言語化、デジタルコンテンツの充実	B	A
1-③	おもてなしガイド活用推進事業	ガイドセンターの運営強化	3,500	3,500	新規ガイド・既存ガイドの座学・フィールドワークの実施、特別講演会の開催	A	A
1-④	地域人材育成・活用事業	人材育成の基盤づくり及び受入環境の整備	1,500	1,296	ガイド人材の育成、各種研修・講座の実施	A	A
2 まちのファンから移住・定住人口のステップアップ			5,200	5,200			
2-①	しらおいファンづくり事業	まちのファンづくりによる関係人口の創出・拡大	3,000	3,000	専用Webサイトの運営、PR冊子・動画「おいでよしらおい」の作成	A	A
2-②	移住・定住促進事業	情報発信・受入強化による移住定住の促進	2,200	2,200	専用Webサイトのコンテンツ強化、移住相談会・オンライン移住相談会展、移住コンシェルジュ運用整備	A	A
3 ステージに応じた切れ目ない子育て支援			2,150	2,108			
3-①	子育て世代交流促進・情報発信事業	子育て世代の誘致促進	1,500	1,492	ファミリーコンサートの開催、子育て団体のPR活動、子育て情報の発信	A	A
3-②	白老寺子屋開講事業	特別講習等による学習意欲向上	650	616	町内私立高校講師による特別講習会、首都圏大学生によるデジタルサマーキャンプの開催	B	A
合計			16,850	16,604			